

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きを短くまとめて紹介します



北京事務所

日中地域間交流推進セミナー & JET 経験者意見交換会を開催しました！

7月30日、中国青海省西寧市で、「第14回日中地域間交流推進セミナー」を開催しました。このセミナーは、日中両国における地域間交流を一層促進するため、中国外交部、地方政府、日本国大使館、在中国自治体事務所などと連携し、毎年、中国の各都市で開催しているものです。

今回は、「一帯一路」構想の中心都市の一つである西寧市にて、「新たな都市間交流の展開と展望～新旧シルクロードでつなぐ～」をテーマに、講演とパネルディスカッションが行われました。文化観光交流の促進について活発な議論がなされ、今後の交流拡大を望む声が日中双方から多く聞かれました。また、セミナーに先立ち、29日にはJET経験者による意見交換会が開催され、現在、中国各地の地方政府などで活躍するJET経験者たちが「日中の地域間交流・相互理解で大切な視点とは何か」について意見を交わしました。



ソウル事務所

韓国の著名漫画家ホ・ヨンマン氏が岡山県の魅力を韓国で発信！

7月5日～9日まで、ソウル事務所と岡山県の招聘により、韓国の著名漫画家であるホ・ヨンマン氏をはじめ、韓国国内で有名な旅行作家や人気ブロガーで構成された取材団が、岡山県の各地を取材しました。今回の取材では、日本三名園の一つ、岡山後楽園や、全国露天風呂番付で西の横綱とされている「砂湯」のある湯原温泉などを取材し、自然の美しさと伝統文化の残る岡山県の景観に、取材陣は心を打たれたようでした。

また、「勝山町並み保存地区」では、古い街並みの軒先に色とりどりののれんが飾られており、ホ・ヨンマン氏は「のれんを買って帰りたい」というほど感銘を受けたようでした。

取材結果は、韓国で毎月14万部発行される月刊誌「HEYDAY」などに掲載され、韓国国内で広くPRされました。今後、岡山県を訪れる韓国人観光客のさらなる増加が期待されます。



シンガポール事務所

「Thai International Travel Fair (TITF #17)」で日本の魅力をPR！

8月13日～16日にかけて、タイ最大級の旅行博「TITF」が開催され、約3千人が訪日旅行商品を購入し、訪日旅行商品販売総額は約1億5千万円となりました。シンガポール事務所では、日本政府観光局（JNTO）バンコク事務所と連携し、ジャパンパビリオン内で旅行先についての相談や日本各地の観光パンフレット配付を行い、訪日観光をPRしました。



シドニー事務所

ときめき国際学校 25周年

神奈川県小田原市と豪州マンリー市の間で行われている中高生の相互交流事業、ときめき国際学校が今年25周年を迎えました。8月5日～6日にマンリー市で両市長出席の中、公式記念行事などが行われました。ときめき国際学校には25年間合計で約1,450人の若者が参加しています。

シドニー事務所のHPでは、日本の学校と交流を希望するオーストラリアの学校情報を掲載していますので、興味のある方はぜひご覧ください！



ニューヨーク事務所

北米最大規模の見本市「NY NOW」に香川県が初出展

8月15日～19日まで、北米最大規模の家庭用品・ギフト関連商品を展示した見本市「NY NOW」が開催され、唯一の自治体単独出展となった香川県は、県内11企業を束ねた共同ブースを設置しました。アロマとして使用可能な色鮮やかな線香など、海外購買層向けに工夫を凝らした製品を集め、プロのバイヤーに向けて熱心に商品をアピールしました。



ロンドン事務所

現代の「薩摩スチューデント」が来英

150年前、幕末薩摩から英国に密航し、後に日本の近代化に貢献した「薩摩スチューデント」と同年代の鹿児島県内の学生・生徒ら19人が7月19日～28日まで来英しました。学生・生徒らは、留学生が学んだロンドン大学UCLで現地高校生などと交流を深めるとともに、ゆかりの地であるサウサンプトン、アバディーンにその足跡を訪ね、郷土の大先輩に自らを重ねました。



パリ事務所

青少年消防オリンピック開催！

7月下旬、ポーランド共和国のオポーレ市で開催された青少年消防オリンピックに日本の少年消防クラブのメンバーが出場しました。

この大会は、ヨーロッパ各国を中心とする国際消防救助組織である国際消防救助協会（CTIF）が2年に一度開催するもので、今回で20回目。世界22か国から青少年が集まり、消防実技を取り入れた競技会で競い合い、母国の文化歴史を紹介しながら国際交流を深めるものです。

日本では一昨年12月に消防団・地域防災に関する新法が制定され、消防団の充実とそれにつながる少年消防クラブの育成に取り組むこととされています。それを受けて日本の少年消防クラブの一層の発展、国内外における少年消防クラブの交流拡大、さらには、将来の消防防災を担う人づくりを進めるために派遣されたものです。

日本から出場したのは、三郷市少年消防クラブ（埼玉県三郷市）、日野消防少年団（東京都日野市）、うずしお少年少女消防クラブ（徳島県鳴門市）、伊平野村少年消防クラブ（沖縄県伊平野村）の中学生らの面々20名。

競技会当日の現地紙は、一面に日本選手団の写真を載せる歓迎ぶり。

競技会では、少年消防クラブのメンバーが2つの日本チームと国際チームに分かれ、消防実技を取り入れた障害物競走と400メートルリレーに出場しました。

消防資器材や競技ルールの違いが大きなハンデになる中、45チーム中26位と32位を占めるなど大健闘しました。「難しかった」との感想もありましたが、むしろ、同じ消防競技に真剣に打ち込む世界各国の同年頃の青年男女との交流に大きな刺激を受けたようです。



JET 事業部

新規 JET 参加者 27 か国から約 1,800 人が来日！

クリアでは、JET プログラムの新規参加者に対し、日本での生活や職務に役立つ知識、技術および情報などを提供し、日本での活動を円滑にスタートできるように来日直後オリエンテーションを東京で実施しています。7月と8月に実施した3回のオリエンテーションには27か国から約1,800人が来日し、会場は熱気に溢れました。JET 参加者はオリエンテーションを受けた後、北海道から沖縄まで全国各地の地方自治体などへ赴任し、学校での語学指導や地域における国際交流活動などに従事します。日本への熱い思いを持ち、将来は日本と母国の橋渡し役を務めるであろう彼らの今後の活躍に期待しましょう！



交流親善課

海外自治体幹部交流協力セミナーを実施しました！！

フランス自治体幹部を迎え、7月20日～30日までの行程で兵庫県豊岡市において、「芸術・文化を活用したツーリズム」および「コウノトリをシンボルとした環境再生への取組み」をテーマに視察と意見交換を実施しました。また城崎温泉街を中心とした「アーティスト・イン・レジデンス」事業の視察を行い、さらに、豊岡市が作成している仏語版 HP に関する提案や空き家対策に関する施策などについて活発な意見交換が行われました。

■お問い合わせ 交流親善課 Tel: 03-5213-1723 Mail: koushin@clair.or.jp



経済交流課

自治体職員協力交流事業（LGOTP）を募集します！

本事業は、日本の地方自治体が海外の自治体職員を受け入れ、さまざまな行政分野で研修を行う事業です。海外自治体の行政課題の解決だけでなく、海外研修員の高い行政スキルが日本の地域の行政課題の解決にもつながっています。本事業については、全国の自治体の皆様に9月中旬から要望調査、11月から募集をそれぞれ行います。詳しくは、下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ 経済交流課

Tel: 03-5213-1726 Mail: lgotp@clair.or.jp



多文化共生課

「多文化共生事例報告会・多文化共生ワークショップ」を開催！！

8月27日に、他団体の参考となる優良な取組事例を広く紹介する報告会・ワークショップを開催し、自治体・地域国際化協会などから72名が参加しました。参加者は、(公財)かながわ国交流財団による「多言語防災リーフレット」に関する事例報告などに耳を傾け、(公財)仙台観光国際協会の多文化防災ワークショップに熱心に取り組んでいました。

当日紹介された事例を含む優良事例については、今後クリア HP の「多文化共生事業事例集（CLAIR 助成事業）」に掲載予定ですので、是非ご覧ください。